

令和5年度下半期 水道事業・下水道事業の経営状況

(令和5年10月1日～6年3月31日)

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。経営状況は、表1～3のとおりです。

なお、複式簿記とは、ひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。

水道事業

水道事業基本計画で定めた、「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を目標に、災害対策用組立式給水タンクの購入や管路網の耐震化、水道施設の設備点検などを行いました。

☆詳しくは、水道部業務課☎543-6111へ。

表1 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

		5年度	4年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万4577人	11万4278人	299人 (0.3%増)
	給水世帯	5万7147世帯	5万6422世帯	725世帯 (1.3%増)
	有収水量	609万6959m ³	606万6374m ³	3万585m ³ (0.5%増)
	配水量	653万3730m ³	630万2130m ³	23万1600m ³ (3.7%増)
下水道事業	接続人口	11万3925人	11万3593人	332人 (0.3%増)
	接続世帯	5万6822世帯	5万6087世帯	735世帯 (1.3%増)
	有収水量	778万1679m ³	774万4989m ³	3万6690m ³ (0.5%増)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

下水道事業

下水道の役割は、汚水の処理、雨水の処理、公共用水域の水質保全です。今後も下水道事業を安定的に継続していくため、下水道管の整備や耐震化工事などを実施しました。

企業債については、1億790万円を借り入れ、償還金2億1069万円を支払いました。

☆詳しくは、下水道課へ。

表2 企業債(借入金)の現在高

		6年3月末	5年3月末	前年度比
下水道事業	現在高(元金)	30億5934万円	32億1169万円	△1億5235万円 (4.7%減)
	接続人口1人当たり	2万6854円	2万8274円	△1420円 (5.0%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表3 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	* 営業収益 8億3491万円 水道料金による給水の収益	* 営業費用 11億4157万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など	* 負担金 1683万円 工事経費のうち市や企業が負担する分など	* 建設改良費 6億92万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	* 営業外収益 8743万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	* 営業外費用 2万円 雨水貯留槽設置助成金など		
下水道事業	合計 9億2234万円	合計 11億4159万円	合計 1683万円	合計 6億92万円
	* 営業収益 10億3356万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	* 営業費用 17億3596万円 下水道管などの維持費、汚水の処理負担金、減価償却費など	* 企業債 1億790万円 * 他会計補助金 6485万円 一般会計補助金	* 建設改良費 3億6414万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	* 営業外収益 5億4930万円 預金利息、一般会計補助金、国・都補助金、長期前受金戻入など	* 営業外費用 4578万円 企業債の借り入れ利息など	* 負担金 29万円 受益者負担金 * 補助金 1億7835万円 国・都補助金	* 企業債償還金 2億1069万円 企業債の元金 * 投資その他資産 3万円 基金積立金
	合計 15億8286万円	合計 17億8174万円	合計 3億5139万円	合計 5億7486万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。